

福生市議会だより

FUSSA

No.137

発行 福生市議会
平成14年1月25日
〒197-8501 福生市本町5番地
☎ 042 (551) 1511 (代表)

平成13年 第4回定例会

平成十四年四月から

「羽村市・瑞穂町・福生市」相互で

戸籍証明書の交付が受けられます

本会議の経過

平成一三年第四回定例会が、一月五日から二日までの一七日間の会期で行われました。今回の定例会では一五人の議員の一般質問、市長提出議案一〇件、陳情三件及び議員提出議案一件の審議が行われました。

第一日目(五日)は、議員が福生市の市政全般にわたって、執行機関に対して事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質したり、説明を求めました。疑問を質

すことのできる一般質問の質問者は一五人で、質問時間は合計一六時間三〇分の通告がありました。また市長から議案一〇件が提出され、その他に陳情が一件提出されました。

日数等を勘案して、会期を五日から二日の一七日間と決定した後に、五人の議員から一般質問が行われ、一日目を終わりました。

第三日目(七日)は、前日に引き続き三人の一般質問が行われ、続いて議案一〇件と陳情一件、さらに新たに提出された陳情二件の審議が行われました。

そのうち「政治倫理の確立のための福生市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例」等五議案を可決。

また平成一三年度福生市一般会計補正予算(第四号)は質疑まで行い、最終日に引き続き討論及び採決をすることとし、他の議案・陳情は所管の委員会に付託し、三日目を終わりました。



▲彦星と織姫の願い「福が生まれますように」(福生駅西口)

第四日目(二日)は、第三日目に各委員会に付託されて結論づけられた議案四件と陳情三件の審査報告、また三日目に引き続き「平成一三年度福生市一般会計補正予算(第四号)」と新たに追加された議員提出の意見書一件を審議し、それぞれ原案のとおり可決し、陳情三件を不採択として、第四回定例会を閉会しました。

例えば、本人自身が保険料を納付することなく厚生年金全体で負担し、共稼ぎ夫婦等の間に不公平が指摘されている第三号被保険者(専業主婦等)問題、また専業主婦が離婚し単身世帯になると夫の報酬比例年金を受けられず基礎年金のみとなってしまう問題、遺族年金は、専業主婦に比べ働く女性に不利な仕組みであ

現在、政府は「女性と年金検討会」を設置し、女性と年金問題について全般的な検討を行っており、広範な国民の意見を聞きつつ、こうした諸問題の解消を目指すとともに、ライフスタイルが多様化した時代にふさわしい年金制度を確立し、女性の自立した生活と人権が確立されるよう図るべきである。

〔送付先〕
内閣総理大臣
厚生労働大臣

● 主な内容 ●	
可決等された案件	2面
一般質問	3~6面
行政視察報告	7面
委員会の審査、活動、陳情	8面



▲街の安全を守る消防団員 (出初め式にて)

可決された案件 (要旨)

内在勤者まで広げ、団員を確保しやすくするもの。

▼議案第七五号 福生市の一般職の職員の平成一三年一二期期末手当の支給割合を定める条例

東京都人事委員会の一三年度の勧告に基づき、平成一三年一二期の期末手当については、平成一二年一二期の支給月額「一・七五」から「〇・二」減の「一・五五」とし、これに勤勉手当の「〇・六」を合わせて「二・一五」を支給するもの。

▼議案第七六号 福生市土地開発基金条例を廃止する条例

昭和四四年二月の自治省財務局長通達を受けて同年一〇月一日に福生市土地開発基金条例を制定し、福生市土地開発基金を創設した。その後、積立金を増額して一〇億円とし、用地取得に活用してきたが、バブル経済の崩壊等により土地価格は下落に転じ、土地の値上がり前提とした用地先行取得の意義が事実上喪失したこと、さらに用地の先行取得については既存の土地開発公社で十分対応が可能であること等から、土地開発基金を廃止し、

▼議案第七七号 福生市と羽村市との間の証明書の交付等の事務の相互委託について

平成一四年四月一日から、生活圏等の広域化に伴い、新たな住民ニーズに対応した行政サービスの一環として、近隣自治体間における戸籍証明書の相互交付事業を実施することにより、地域住民の利便性の向上を図るとともに、羽村市及び瑞穂町とのより一層の広域行政の推進、連携等の強化を図ろうとするもの。

▼議案第七八号 福生市と瑞穂町との間の証明書の交付等の事務の相互委託について

平成一四年四月一日から、生活圏等の広域化に伴い、新たな住民ニーズに対応した行政サービスの一環として、近隣自治体間における戸籍証明書の相互交付事業を実施することにより、地域住民の利便性の向上を図るとともに、羽村市及び瑞穂町とのより一層の広域行政の推進、連携等の強化を図ろうとするもの。

▼議案第七九号 青梅、羽村、福生地区都市下水路組合の解散について

青梅、羽村、福生地区都市下水路組合の解散に伴う財産処分について。本組合は、昭和三六年五月二日に東京都知事の認可を得て設立され、管路延長約五八九四m、排水面積九五九ヘクタールに及ぶ集水区域の雨水や工場排水等を排除するため、当時の福生市、羽村町、

▼議案第八〇号 青梅、羽村、福生地区都市下水路組合の解散に伴う財産処分について

瑞穂町の二市二町で共同設置された。しかし、その後平成一一年三月三十一日をもってすべての事業所排水が公共下水道に接続され、現在この都市下水路は雨水と湧水が流れるのみであり、今後の維持管理を効率的に果たすため、一部事務組合から新たに維持管理事務を委託に切り替えるためのもの。

▼議案第八一号 都市下水路維持管理業務の事務の委託について

都市下水路組合の解散に伴い、解散後における都市下水路の維持管理の事務を青梅市に委託するための規約を制定するもの。

▼議案第八二号 一般会計補正予算(第四号)

歳入で主なもの、国庫支出金及び都支出金の追加、また土地開発基金の廃止に伴う繰入金の追加。また歳出では、一部事務組合の負担額の改定に伴う減額、さらに新たな事業に伴う追加等となっており、二億二九二万七千円を追加し、歳入歳出総額を二一億七九七万二千元とするもの。

討論

今定例会の二議案に対して、賛成・反対の討論が行われ、いずれも可決されました。ここでは、その要旨を掲載しました。

▼議案第八二号 平成一三年度福生市一般会計補正予算(第四号) 賛成
歳入では生活保護費負担金の追加、羽村市・瑞穂町との二市一町で戸籍謄本等証明事務を広域的に相互発行することに伴う追加。また消費生活情報体制整備等交付金が情報提供の高度化推進のために追加され、また歳出では田園会館学童クラブ待機児童解消の施策、医療扶助、生活扶助等の生活保護費の大幅な追加、資源回収実施団体報償金の追加、都市施設整備基金への積み立て、教育費では日本語適応指導講師及び通訳謝礼等経費の追加など、市民福祉の向上やまちづくりが進められる補正予算であり、賛成する。

▼議案第八一号 都市下水路維持管理業務の事務の委託について 賛成
歳入では生活保護費負担金の追加、羽村市・瑞穂町との二市一町で戸籍謄本等証明事務を広域的に相互発行することに伴う追加。また消費生活情報体制整備等交付金が情報提供の高度化推進のために追加され、また歳出では田園会館学童クラブ待機児童解消の施策、医療扶助、生活扶助等の生活保護費の大幅な追加、資源回収実施団体報償金の追加、都市施設整備基金への積み立て、教育費では日本語適応指導講師及び通訳謝礼等経費の追加など、市民福祉の向上やまちづくりが進められる補正予算であり、賛成する。

▼議案第七九号 青梅、羽村、福生地区都市下水路組合の解散について 反対
年度未だあと三カ月で、限定された補正予算となることは理解するが、一つだけ大きな問題がある。それは、市民の協力によるごみ減量三〇〇万

円分が積立金の繰り入れと相殺され、本来なら市民に還元されるべき財源であるのに市民への活用を閉ざしてしまった。新年度から導入の家庭ごみ有料化負担軽減措置に充当する等の使い方をすれば市民に喜ばれると同時に、一層のごみ減量推進にも役立つはずである。このような安易な財政運営は市民の利益と一致しないものであり、今後改めることを強く求め、反対する。

▼陳情第二一三号 市の責任で少人数学級の実現を求める陳情書 賛成
委員会では不採択だが、授業についていけない子、理解できない子が出ており、いじめや不登校の要因の一つになり、このままでは教育の崩壊が心配される。陳情書にも「教育に責任が持てるのは二五人までで、それ以上は教育ではなく管理に委ねよう」として六〇〇〇余人の署名があることは議員も認識するところである。しかし、市独自でとなると財源が心配というが、子どもの教育は何を差し置いても優先と考えるのが一般的で、市も同様と考える。

当市の児童・生徒の教育を守り発展させるために少人数学級は有効な手段であることから、一日も早く市の責任で陳情に応えるべきである。

議会日誌

2日 長野県塩尻市視察来市	13日 全国市議会議長会評議員会
4日 総務文教委員会行政視察(5日まで)	14日 全国市議会議長会基地協議会理事會
農業委員会行政視察(5日まで)	15日 東京都市議会議長会理事會・総会
11日 市民厚生委員会行政視察(12日まで)	16日 青梅・羽村・福生地区都市下水路組合協議會
15日 建設環境委員会行政視察(16日まで)	18日 東京都市収益事業組合協議會正副会長・監事・相談役協議(19日まで)
16日 全国市議会議長会基地協議會正副会長・監事・相談役協議(17日まで)	19日 瑞穂畜場組合協議會
18日 議会運営委員会	20日 瑞穂畜場組合協議會行政視察(20日まで)
19日 庁舎検討特別委員会	21日 四五都市協議會協議會(22日まで)
22日 多摩地域農業共済事務組合協議會	26日 農業委員会
23日 三多摩上下水及び道路建設促進協議會第二委員会	27日 議会運営委員会
24日 三多摩上下水及び道路建設促進協議會第三委員会	28日 庁舎検討特別委員会
25日 西多摩衛生組合協議會	29日 西多摩衛生組合協議會
26日 東京都市収益事業組合協議會	30日 福生病院組合協議會
31日 東京都三多摩地域廃棄物広域処分協議會	5日 第4回定例会1日目
1日 東京都道路整備推進大会	6日 第4回定例会2日目
2日 東京都三多摩地域廃棄物広域処分協議會	7日 第4回定例会3日目
5日 正和会派視察(6日まで)	11日 建設環境委員会
7日 群馬県沼田市視察来市	12日 市民厚生委員会
8日 全国市議会議長会基地協議會関東部総会(9日まで)	13日 総務文教委員会
9日 庁舎検討特別委員会	17日 全国市議会議長会基地協議會関東部正副会長・監事・相談役協議會
12日 西多摩地区協議會	18日 庁舎検討特別委員会
	19日 議会運営委員会
	20日 全国市議会議長会基地協議會実行運動
	21日 第4回定例会4日目
	25日 例月出納検査

市政のここが聞きたい

今定例会では、一五人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にただしました。三から六面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が掲載できません。詳しくは、三月初旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー、または図書館でご覧ください。

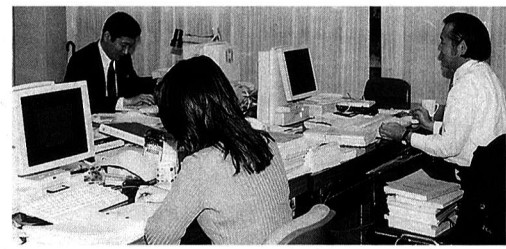
なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認をしています。

一般質問 (要旨)

一 四年度予算編成の基本的な考え方は

野口秀世議員

質問 不況の中で失業率の問題、同時多発テロの発生、狂牛病問題により景気の先行きはますます不透明感を増し、好転の兆しが見えない中での予算編成は苦勞も多いと思うが、市民は期待している、市長の基本的な考え方を伺いたい。



▲14年度予算の編成作業

市長 一四年度予算方針は、①自主財源、依存財源の確保に努め、経常的経費の見直し、コストの削減、費用対効果による財源の重点的、効率的な配分を図る。②基本計画、実施計画に基づく重

点施策の計画的、効率的執行を図り、市民サービスの向上に向けた行政施策の展開を図る。③施策の全般にわたり創意工夫を重ね、長期的視点に立

つた財政運営のもと市民に信頼される市政の実現を図る。以上の3点を基本に、今後の財政状況を踏まえた予算編成をしていきたい。

質問 来年度の地方交付税の動向、財政難や情報公開という難しい問題の中での防衛補助金、そして調整交付金の来年度の予測を伺いたい。また基地交付金は総枠が変更になったが、来年度の見通しを伺いたい。

市長 来年度の地方交付税は一

三年度に引き続き交付税改革を図ることで実質的な減額が予測され、臨時財政対策債の増額を懸念している。防衛補助金については、学校の騒音防止事業は従前どおり九〇%の補助率で実施できることとなっている。調整交付金は一三年度で二億七千万円を回復し、一四年度も下回らないよう努めていきたい。基地交付金は、国の予算が一〇億円増額され、本年度は横田基地の国有財産台帳価格が改定のため、財産台帳価格が減となったが、一三年度と比べて四〇九

三万六千円の増である。

行政改革推進の対応と効果は

石川和夫議員

質問 市では昭和六二年と平成八年策定の行政改革大綱及び推進計画に

及び推進計画を示したが、

より改革を進め、本年三月に第三次行政改革大綱及び推進計画を示したが、

を掲げて取り組んでいる。八年度から一三年度までの効果額は歳入の確保では四億五六〇〇万円、歳出の抑制では五億七九〇〇万円となっており、今後もより一層の行政改革の推進に努めたい。

市長 第三次行政改革大綱は、市の独自性を発揮し、市民から高い評価を受けるまちづくりを目指し、市民参画を重視し目標を達成することを方針としている。また、推進計画ではごみ処理手数料の見直し、給与改定の見送り、休日保育の実施、西多摩地域での図書館の相互利用など一八〇項目

経済不況や、地方分権等社会変化への対応が求められる中、第三次行政改革推進の対応と効果は。

市長 要介護認定者数は八七一人、サービス利用者は七四二人、在宅サービスは五〇九人、施設サービスは二三三人である。アンケートの反応は概ね満足しているとのことである。

市内に事業所は一〇カ所あり、ホームヘルパー三〇一人、ケアマネジャー一三三人である。介護保険施設が市内に建設されたので、利子補給等の支援をし、市民が優先利用できるように二〇床のベッドを確保したい。課題としては、より良いサービスが提供できるように基幹型の在宅介護支援センターと連携を取り努めていきたい。

質問 介護保険制度開始から一年半が経過したが、要介護者の状況、在宅、施設サービスの状況、ケアマネージャー、ホームヘルパーの状況、また市内に初めて建設された介護保険施設の状況、今後の課題等を伺いたい。

市長 要介護認定者数は八七一人、サービス利用者は七四二人、在宅サービスは五〇九人、施設サービスは二三三人である。アンケートの反応は概ね満足しているとのことである。

市内に事業所は一〇カ所あり、ホームヘルパー三〇一人、ケアマネジャー一三三人である。介護保険施設が市内に建設されたので、利子補給等の支援をし、市民が優先利用できるように二〇床のベッドを確保したい。課題としては、より良いサービスが提供できるように基幹型の在宅介護支援センターと連携を取り努めていきたい。

質問 九月一二日以降横田基地のゲートは警戒体制に入り厳しい検問のため、一六号線や第五ゲート付近が交通渋滞となり、一六号線沿いの商店街に影響が出ている。また市でもテロ対策マニュアルを作成中だが、今の世界情勢からテロが起こることを想定して考える必要があると思うが、市長の見解を伺いたい。

市長 羽村市、瑞穂町とは福生病院や西多摩衛生組合、瑞穂斎場などの広域的な連携があり、また戸籍証明の相互交付も準備が進んでいるが、図書館の相互利用ができれば知的財産の共有からも有効だと思うが、将来の合併を視野に入れた考え方を伺いたい。

質問 羽村市、瑞穂町とは福生病院や西多摩衛生組合、瑞穂斎場などの広域的な連携があり、また戸籍証明の相互交付も準備が進んでいるが、図書館の相互利用ができれば知的財産の共有からも有効だと思うが、将来の合併を視野に入れた考え方を伺いたい。

市長 図書館の広域利用は西多摩地区図書館連絡協議会で協議を重ね、一四年度中に実施の見込みである。さらに一四年度四月から市民サービスの向上と広域的な行政の推進のため羽村市、瑞穂町との戸籍証明の広域交付の実施を予定している。合併の是非については各自治体や住民の意見、意向を十分に反映させ、方向づけをしなければと考えている。将来的に合併を視野に入れながら、今後も様々な分野、形で広域的な行政の推進を図ってきたい。

質問 九月一二日以降横田基地のゲートは警戒体制に入り厳しい検問のため、一六号線や第五ゲート付近が交通渋滞となり、一六号線沿いの商店街に影響が出ている。また市でもテロ対策マニュアルを作成中だが、今の世界情勢からテロが起こることを想定して考える必要があると思うが、市長の見解を伺いたい。

市長 九月一二日以降横田基地のゲートは警戒体制に入り厳しい検問のため、一六号線や第五ゲート付近が交通渋滞となり、一六号線沿いの商店街に影響が出ている。また市でもテロ対策マニュアルを作成中だが、今の世界情勢からテロが起こることを想定して考える必要があると思うが、市長の見解を伺いたい。

市長 九月一二日以降横田基地のゲートは警戒体制に入り厳しい検問のため、一六号線や第五ゲート付近が交通渋滞となり、一六号線沿いの商店街に影響が出ている。また市でもテロ対策マニュアルを作成中だが、今の世界情勢からテロが起こることを想定して考える必要があると思うが、市長の見解を伺いたい。



▲会議を重ねる行政改革プロジェクトチーム



▲カラーコーンが置かれている国道16号線

目の不自由な方に
声の「市議会だより」を
お届けします

問合せ 福生市議会事務局
☎551・1511 (内線512)

一年半経過した介護保険成果と課題は

自治体間相互の連携強化を

対テロ警備と周辺市民への影響は 遠藤洋一議員

安全ですか 学校の防災対策

森田昌巳議員

質問 九月の防災訓練は各小学校を会場として実施し、小学校の避難訓練、保護者への引き渡し訓練も同時に行われ、よい企画との声が聞かれた。学校は耐震構造に改造されて倒壊の危険はないが、防火対象物であり、子ども



▲防災頭巾をかぶって避難訓練 (第二小学校)

教育長 各小・中学校は消防法により毎月一度避難訓練及び安全指導を行っている。この防災計画の一切の権限は防火管理者の教頭にあり、消火、通報、避難誘導等の訓練に関することや消防用施設、設備の点検整備の立ち会い、監督などに携わ

っている。なお、教頭は甲種防火管理者の課程を終了して防火管理者としての資格を有している。

リサイクルセンター 環境PRとして活用を

質問 ごみ行政の進展は最新鋭のリサイクルセンターやプラザ棟を拠点として、環境行政の発信基地となるような環境PRセンターを開設することで、環境基本条例、基本計画の策定や環境都市の構築に結びつくと思うが、市の考えを伺いたい。

市長 一三年度中に環境基本条例を上げし、一四年度と一五年度で(仮称)福生市環境市民会議を設けて環境基本計画を策定していく予定で、そのためには環境に関するPRの場所も必要となり、市民会議や市民の意見を参考に、リサイクルセンターを含めて検討していきたい。またリサイクルセンターでは雨水を貯水して植木の散水や床洗浄に再利用し、リサイクルプラザは廃棄物行政の啓発拠点ともなっている。

またリサイクルセンターの雨水再利用対策やプラザ棟の状況を伺いたい。市長 一三年度中に環境基本条例を上げし、一四年度と一五年度で(仮称)福生市環境市民会議を設けて環境基本計画を策定していく予定で、そのためには環境に関するPRの場所も必要となり、市民会議や市民の意見を参考に、リサイクルセンターを含めて検討していきたい。またリサイクルセンターでは雨水を貯水して植木の散水や床洗浄に再利用し、リサイクルプラザは廃棄物行政の啓発拠点ともなっている。

地域と学校の 「ビオトープ」づくりを

今林昌茂議員

質問 最近良く聞かれるビオトープとは、ドイツ語で「地域の野生生物の生息空間」という意味である。野生の生き物を守ると同時に生活の場である池や草地、雑木林などのビオトープも守る必要があるという考え方が



▲愛鳥モデル校の第五小学校

緊急地域雇用創出 特別交付金は

質問 景気低迷が続く中で国民生活を守る緊急避難的な施策が今回の雇用対策であり、地場産業や、地域産業の不振により地域全体が沈み込んで打開が困難な地域には緊急地域雇用創出特別交付金が有意義だと思いが、雇用創出効果のある雇用対策の考えを伺いたい。

市長 今回の特別交付金の予算規模は三五〇〇億円、都には三〇〇億円程度が交付される予定である。対象期間は四年間、対象事業は教育、福祉、環境、地域振興などの緊急性が強く雇用創出を図る民間企業等への委託事業である。市が直接実施できる事業は学校教育での臨時講師や臨時指導員などに限定される。今後特別交付金を活用できる事業の計画化、予算化を図る中で雇用、就業機会を創出し、緊急性、必要性の高い事業の実施を効果的に進めたい。

ら、植物や生物が自然の中で生息できるように環境を学校の中ですくくることができれば、環境保護、命の尊さなどの教材として生かしていけると思うが、市の考えを伺いたい。教育長 市境に多摩川が流れ、市内には多摩川がつくり出した河岸段丘のはげがあり、それらは、まさに自然のビオトープであり、子どもたちの環境学習には絶好の場所である。今後はこの豊かな自然を活用した環境学習を一層推進するよう指導

高齢社会を迎え ミニバス導入の考えは

沼崎満子議員

質問 まずは高齢社会を迎えようとしている中で健康者、交通弱者の区別なくだれもが同等に活動できる社会、「ノーマライゼーション」の推進が必要と思う。市民の強い要望である市内循環バスについて、プロジェクトチームの検討はどうなっているか。



▲あきる野市内を循環するミニバス

文化・芸術の振興で 生活文化都市を

質問 二一世紀を迎え文化を重視した国づくりや国際貢献の必要性が大きく浮上している。六月には、文化振興に関する施策を網羅した基本法案が国会に提出された。人と自然が調和した生活文化都市を目指すまちづくりの理念を実現するため、生涯学習と学校教育の分野から芸術振興への取り組みについて伺いたい。

市長 近隣自治体の導入事例や市民要望は認識しており、交通網整備等プロジェクトチームの中で市内循環バス運行の必要性を中心に検討している。実際に運行しているあきる野市の現状視察、市内の路線バスの運行経路や本数、福祉センター送迎バス等の状況、高齢者の居住が多い地域の状況等、市内の交通環境の現状と課題の把握に取り組んでおり、今後、市民

の要望や利用者の需要に関する調査、費用対効果等の研究・検討を進めていきたい。文化・芸術の振興で生活文化都市を 質問 二一世紀を迎え文化を重視した国づくりや国際貢献の必要性が大きく浮上している。六月には、文化振興に関する施策を網羅した基本法案が国会に提出された。人と自然が調和した生活文化都市を目指すまちづくりの理念を実現するため、生涯学習と学校教育の分野から芸術振興への取り組みについて伺いたい。教育長 福生市は市民会館、プチギヤラリー、茶室等を設置し、芸術文化活動の拠点確保、各種学級・講座など公民館事業の充実、狂言や落語、演劇、コンサート等に取り組んでいる。学校教育では音楽鑑賞教室と演劇鑑賞教室を開催し「芸術に触れることのできる機会」を提供している。今後市民や関係団体、学校と連携協力し、芸術文化活動の推進に努めていきたい。

市道一六号線 教会踏切付近の整備を

原島貞夫議員

質問 一一年に、五丁橋通りの八高線、鍋ヶ谷戸架道橋の拡幅、かさ上げ工事を要望した際、三案が示され、実現化は困難とのことであった。八高線以西で火災等が発生すると、消防車は教会踏切を簡単に通過できない。また地域の市民の利便性や交通安全を図るために教会踏切手前の私道を市道として整備し、文化の森方向への道路延伸ができないか。



▲早急に整備を教会踏切

高齢者の自立支援に グループハウスを

質問 尼崎市のグループハウスを視察し、そこで暮らす高齢者の生活を見て市でも必要ではないかと考えた。ひとり暮らしの高齢者は掃除や食事が大変であったり、防災、防犯の不安など様々な問題を抱えて生活している。高齢者の自立支援のためグループハウスの建設をどう考えているか。

市長 尼崎市のグループハウスは災害復興という特異な環境の中で建設された。高齢者向けの住宅でもなく、介護保険施設でもないグループハウスの建設は補助が受けられないため、市の単独事業としては財政状況が厳しいため、実現は難しい。高齢者が地域で生活していく中で、どのような支援が可能かについては研究をしていきたい。住み慣れた地域で、高齢者が安心してその能力に応じた自立した生活ができるよう努めたい。

市長 教会踏切先からわらつけ街道間の幅員が三・三メートルと狭く、五丁橋通り八高線ガードのかさ上げ工事にかえて、拡幅していく考えであり、今後JR東工事事務所と協議していきたい。また、わらつけ街道方向に向かい教会踏切手前の行き止まり私道は、八高

横田基地のテロ対策 安全確保はどうする

小野沢久議員

質問 アメリカの同時多発テロに伴い横田基地も警戒体制に入っている。

の設置等限られているが、市民の生命、財産を守るため消防署、警察署等と連携し対応していきたい。

新たなサービス 土曜・日曜の開庁を

質問 今年度、全職員が名札を着用し、わかりやすく良いと市民に大変好評である。また五時一五分までの開庁も公立保育園の時間延長とともにサービスの前進が見られた。戸籍証明や図書館の広域化も進められているが、土・日曜の開庁について伺いたい。

市長 今年度、全職員が名札を着用し、わかりやすく良いと市民に大変好評である。また五時一五分までの開庁も公立保育園の時間延長とともにサービスの前進が見られた。戸籍証明や図書館の広域化も進められているが、土・日曜の開庁について伺いたい。

市長 今年度、全職員が名札を着用し、わかりやすく良いと市民に大変好評である。また五時一五分までの開庁も公立保育園の時間延長とともにサービスの前進が見られた。戸籍証明や図書館の広域化も進められているが、土・日曜の開庁について伺いたい。



▲テロに対する市民の不安は募る

基地があることで騒音や米兵の事件以外に大きな被害はなかったが、現在はいつテロが起きるかわからないという市民の不安がある。市は基地があることにより起きる可能性があるので、災害が起きた場合に市民をどう守っていくのか伺いたい。

市長 万が一のテロ事件に備え、職員一人ひとりの危機管理意識が重要で、災害発生前、発生後の二通りのテロ対策用職員初動マニュアルを作成している。正確な情報の収集と職員等の組織的活動が大切であることをうたったものである。市民に対してできることは正確な情報の伝達、避難所

の設置等限られているが、市民の生命、財産を守るため消防署、警察署等と連携し対応していきたい。

質問 福生が好きだからずっと住み続けたいという方が安心して暮らすため、横田基地の安全確保対策と、同時多発テロに絡む安全確保や市のテロ対策についての状況を伺いたい。

市長 米軍輸送機の部品落下事故や米兵による事件については、その都度再発防止に万全を期するよう要請している。同時多発テロ以後の安全対策は、警察署による警備が行われているが、今後は自衛隊法の改正により米軍基地への警備出動も考えられている。市のテ

横田基地周辺の 安全確保を

比留間和夫議員

質問 福生が好きだからずっと住み続けたいという方が安心して暮らすため、横田基地の安全確保対策と、同時多発テロに絡む安全確保や市のテロ対策についての状況を伺いたい。

牛浜駅エレベーター 早期設置を

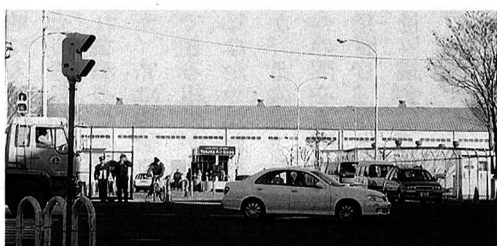
質問 牛浜駅は市民会館等に近く、多くの方が利用するため、バリアフリー化の取り組みがよく見える場所である。以前から駅のプラットホームに接続するエレベーターの設置やホームの屋根等を要望しているが、駅の西側についての配慮も含めJRへの要望とその後経過を伺いたい。

市長 牛浜駅のエレベーター設置は、設置基準や優先順位から大変厳しい状況の中、西多摩地域広域行政協議会の要望事項に追加し、関係市町村の首長がJRに出向き要望したが、明確な回答が得られない状況である。市独自の設置については、東京都の新たな政策として経費の一部補助の動きが出てきたので、十分に検討したいが、JRが実施することが最善の方策と考えているので、今後

市長 牛浜駅のエレベーター設置は、設置基準や優先順位から大変厳しい状況の中、西多摩地域広域行政協議会の要望事項に追加し、関係市町村の首長がJRに出向き要望したが、明確な回答が得られない状況である。市独自の設置については、東京都の新たな政策として経費の一部補助の動きが出てきたので、十分に検討したいが、JRが実施することが最善の方策と考えているので、今後

市長 米軍輸送機の部品落下事故や米兵による事件については、その都度再発防止に万全を期するよう要請している。同時多発テロ以後の安全対策は、警察署による警備が行われているが、今後は自衛隊法の改正により米軍基地への警備出動も考えられている。市のテ

市長 米軍輸送機の部品落下事故や米兵による事件については、その都度再発防止に万全を期するよう要請している。同時多発テロ以後の安全対策は、警察署による警備が行われているが、今後は自衛隊法の改正により米軍基地への警備出動も考えられている。市のテ



▲厳重な警戒態勢の第5ゲート

市長 米軍輸送機の部品落下事故や米兵による事件については、その都度再発防止に万全を期するよう要請している。同時多発テロ以後の安全対策は、警察署による警備が行われているが、今後は自衛隊法の改正により米軍基地への警備出動も考えられている。市のテ

高齢者福祉 充実に向けて施策を

奥富喜一議員

質問 老人会を活発にするためにも公園の草取りに補助金を出す考えはないか。また元気なお年寄り対策でグループホーム等の生活をする場の提供を考えているか。さらに現在の老人医療実態と医療費負担軽減を市独自に取り組む考えはないか。

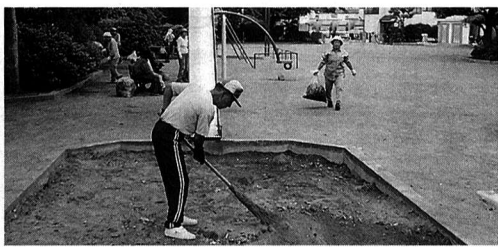
就学を支える施策 実施と拡充を

質問 厳しい社会情勢の中で就学援助を受ける児童・生徒数はどのような現状か。卒業時の保護者負担も大変だが、卒業アルバム代は補助しているか。修学旅行や移動教室の補助金の拡大を検討すべきだと思うが、考えを伺いたい。

市長 二五の老人クラブに前年度は八六〇万円の補助をしている。九月二〇日を「社会奉仕の日」とし、老人クラブが自主的に公園の清掃をしているが、簡易な維持管理については相談していききたい。グループハウス等の設置は建設費、運営費の全額が市負担のため財政上厳しいが、研究していきたい。老人医療費については自己負担額が一割で、外来は一カ月三千円、入院は三万七千円を限度

市長 二五の老人クラブに前年度は八六〇万円の補助をしている。九月二〇日を「社会奉仕の日」とし、老人クラブが自主的に公園の清掃をしているが、簡易な維持管理については相談していききたい。グループハウス等の設置は建設費、運営費の全額が市負担のため財政上厳しいが、研究していきたい。老人医療費については自己負担額が一割で、外来は一カ月三千円、入院は三万七千円を限度

市長 二五の老人クラブに前年度は八六〇万円の補助をしている。九月二〇日を「社会奉仕の日」とし、老人クラブが自主的に公園の清掃をしているが、簡易な維持管理については相談していききたい。グループハウス等の設置は建設費、運営費の全額が市負担のため財政上厳しいが、研究していきたい。老人医療費については自己負担額が一割で、外来は一カ月三千円、入院は三万七千円を限度



▲きれいな公園ありがとう

市長 二五の老人クラブに前年度は八六〇万円の補助をしている。九月二〇日を「社会奉仕の日」とし、老人クラブが自主的に公園の清掃をしているが、簡易な維持管理については相談していききたい。グループハウス等の設置は建設費、運営費の全額が市負担のため財政上厳しいが、研究していきたい。老人医療費については自己負担額が一割で、外来は一カ月三千円、入院は三万七千円を限度

市民の暮らしを守る 予算編成を

松山 清議員

質問 長引く不況のもとで失業率も過去最悪の五・四%となり、追い打ちをかけるように大企業の相次ぐリストラ計画の発表、政府が医療費の国民負担増を進める改革など一層国民生活に負担が強いられている。都も国と同様に福祉の切り捨てを進めている中で、来年度の予算編成が進められている。野澤市政では本格的な第二回目の予算編成となるわけだが、六万市民の暮らしを守ることを基本に編成すべきではないかと考えるが、市長の考えを伺いたい。

どうなる14年度予算

市長 予算編成の基本的な考え方は、①自主財源の確保や国・都補助金等の確保に努める一方、行革を進め、内部的な経常経費を見直し、経営的感覚を取り入れ、施策全

市長 長引く不況のもとで失業率も過去最悪の五・四%となり、追い打ちをかけるように大企業の相次ぐリストラ計画の発表、政府が医療費の国民負担増を進める改革など一層国民生活に負担が強いられている。都も国と同様に福祉の切り捨てを進めている中で、来年度の予算編成が進められている。野澤市政では本格的な第二回目の予算編成となるわけだが、六万市民の暮らしを守ることを基本に編成すべきではないかと考えるが、市長の考えを伺いたい。

市長 長引く不況のもとで失業率も過去最悪の五・四%となり、追い打ちをかけるように大企業の相次ぐリストラ計画の発表、政府が医療費の国民負担増を進める改革など一層国民生活に負担が強いられている。都も国と同様に福祉の切り捨てを進めている中で、来年度の予算編成が進められている。野澤市政では本格的な第二回目の予算編成となるわけだが、六万市民の暮らしを守ることを基本に編成すべきではないかと考えるが、市長の考えを伺いたい。



▲どうなる14年度予算

市長 予算編成の基本的な考え方は、①自主財源の確保や国・都補助金等の確保に努める一方、行革を進め、内部的な経常経費を見直し、経営的感覚を取り入れ、施策全

行政視察報告

福生市議会では、全国の市町村で実施されている、特色ある施策を、今後のまちづくりの参考にするために、常任委員会並びに特別委員会等の視察を行っています。

なお、常任委員会では、平成一一年から、今までの二泊から一泊にし、特別委員会等では毎年実施から隔年の一泊で実施をしております。

平成一三年度は、今後の福生市の行政に反映すべく、総務文教委員会・市民厚生委員会・建設環境委員会の三常任委員会が先進地の視察を行いました。

総務文教委員会

◎日時 平成一三年一〇月四日～五日

◎視察地 奈良県生駒市

◎目的 小中学校等のインターネット化による「心の教育」の充実について

生駒市は、昭和四六年に市制を施行し、人口も平成二年に一〇万人を突破して県内で三番目の人口規模の都市となり、大阪圏の住宅都市として発展をしている。
生駒市は、いじめなどによる不登校問題や、中



▲「心の教育」実施小学校を視察する委員

学生が小学生をバタフライナイフで脅かし現金などを奪う事件が発生するなど学校現場における「心の教育」の充実が求められた。その後、市内の小中学校と幼稚園にパソコンを導入してインターネット化を計り、情報教育の推進、いじめによる不登校問題対策として心の教育活動に力を入れてきているとともに、市の教育相談室にもパソコンを設置し、不登校などで相談に訪れる児童生徒や保護者にインターネットを活用しながら学校の情報等を提供し、最先端の情報技術を使った試みの成果が注目されている。

また、不登校児童・生徒とのメール交換、教室に入れない子どもや不登校気味の児童・生徒にパソコンを介しての個別指導ができ、子どもの才能を発掘できるきっかけができたので、今後は、情報活用力を育成するために、総合的な学習の時間を中心に①情報活用の実践力②情報の科学的理解③情報社会に参画する態度、各々育てる学習の系統化を図るよう、市をあげて情報化に取り組んでいくとのことでした。福生市でも、インターネットを利用した「心の教育」は大いに参考になると思いました。

市民厚生委員会

◎日時 平成一三年一〇月一日～二日

◎視察先 兵庫県尼崎市

◎目的 グループハウスについて

尼崎市には、阪神淡路大震災で家を失ったお年寄りのために、二四時間ケア付きの集団生活住宅「グループハウス」があります。近年は、高齢者や障害者のためにケア付きの「グループハウス」が注目を浴び、福生市や近隣の自治体でも様々な取り組みが始まっています。

今回視察した尼崎市の「グループハウス」のスタートは、阪神淡路大震災の仮設住宅です。この仮設住宅は介護の必要な被災者のために作られました。しかし、こうした仮設住宅は災害救助法に基づき「仮設」でしかなく、その後のケアが必要な、一人暮らしが困難な「高齢者」のみならず、「受け皿」として考えられたのがこの「グループハウス」です。



▲グループハウスを視察した委員

一九九八年に市役所の近くにある市有地に建設され、現在の入居者は一〇人（すでに四人亡くなったそうです）、六人のヘルパーが三交代で、二四時間ケアをしています。当日、市の担当者、センター長の中村さん、職員、入居者の方から貴重なお話を伺うことができました。また、インターネットなどで予習してき

た委員もおり、活発な質問や、施設の見学など大変熱心に勉強してきました。これから、本格化する高齢者や、障害者のための「グループホーム」を考えるうえで、大変に有効な視察でした。

建設環境委員会

◎日時 平成一三年一〇月五日～六日

◎視察地 広島県広島市

◎目的 広島市「緑の基本計画」について

広島市は、第二次世界大戦まで軍都として栄え、昭和二〇年八月六日に、原子爆弾により、市の中心部が一瞬にして焦土と化した。その後の復興は著しく進み、中四国の中枢都市として発展している。

広島市は、水と緑が輝く潤いのある平和都市を目指し、豊かで美しい自然環境の形成に取り組んでいる。新たな世紀が始まる今、行政と市民や地域が一体となった新たな緑の構想への取組みのため、「広島市緑の基本計画」を策定し二一世紀の緑のまちづくりについて、理念と方向を示し緑の将来像と施策を打ち出している。

それらの特性に応じた個性的で、魅力ある地域社会をつくるためには市民が地域に愛着を持ち市民と行政が協働してまちづくりを推進していくことが必要である。当委員会は、市民に開かれた施設づくりに資するため、公園整備においてワークショップ方式を取り入れて整備を行っている山本第七公園をはじめとする七ヶ所の新規公園の現状と一定の成果を上げている様子を視察できた。

緑は、私たちが生活する上で様々な役割を果たしている。地方分権が進展する今日、それぞれの特性に応じた個性的で、魅力のある地域社会をつくるために、福生市内の公園においても市民と行政が協働して対象地域の住民の「アイデア」を取り入れ、愛着を持った公園づくりをしていくのもよいのではないかと感じました。

請願書式(例)

〇〇〇〇〇〇に関する 請願書

請願(陳情)者代表 (電話番号を含む)
住所 (記名押印)
氏名 (請願のみ必要・紹介議員は署名)
紹介議員

請願(陳情)の要旨

請願(陳情)の事項

1
2
...

平成〇〇年〇月〇日提出
福生市議会議長 〇 〇 〇 様

請願・陳情はお早めに

- 請願には必ず一名の議員の紹介が必要ですが、陳情については不要です。
- 請願・陳情者は住所と氏名を必ず記載し、押印してください。
- 署名者も同様です。
- 署名簿も、住所・氏名の記載と押印が必ず必要です。
- 内容が二つ以上の委員会に關係する場合、なるべく分けて提出してください。
- 必要に応じて図面をつけてください。
- 請願・陳情はいつでも受付を行なっています。各定例会(三・六・九・十二月)初日の二日前(市の休日を除く)までに提出された請願・陳情の審議はその会期内に行ないますが、それ以降の分は次の定例会で審議することになります。
- 請願・陳情は郵送ではなく持参してください。

次回定例会のお知らせ

平成一四年第一回定例会は、三月六日(水)から開かれます。本会議・委員会とも傍聴できますのでお気軽においでください。

※問合せ 議事事務局 庶務係
☎五五一一一五一一(内線五一一)

